

令和8年5月25日(月)



稚内海上保安部

みなみ わか
美波 稚海

ザ・もっともきた



最北ねっと 209号

海の「事件・事故」は

118番

海上保安庁 緊急通報用
電話番号です。

稚内海上保安部長 着任のご挨拶

稚内海上保安部長 篠原 善則



「最北ねっと」をご覧いただき、ありがとうございます。

4月15日付で、稚内海上保安部長を拝命しました篠原（しのはら）と申します。よろしくお願いいたします。

前任地は、本庁海洋情報部所属

「測量船平洋（へいよう）」船長として、主に日本周辺海域において海底地形調査や海溝型地震の震源域における海底地殻変動観測など海洋権益の確保や防災に資する情報の収集など海洋情報業務の推進に取り組んでまいりました。

この度、稚内海上保安部長を拝命し、重責に身の引き締まる思いです。北海道勤務は通算14年ありますが、道北地方は初めての勤務であり、これまでに培った知識や経験を余すところなく活用し、関係する方々からご教授、ご指導をいただきながら、地域の皆様方の安全・安心を確保するために、全力を尽くしていく所存です。

今後、稚内海上保安部では、巡視船と陸上職員が一体となり、次の3点を重点課題として、取り組んでいくつもりです。

1点目は「海上治安の確保」です。宗谷地方は他国と国境を接しています。稚内海上保安部では、関係省庁との連携や地域の方々との意見交換を行い、被だ捕や被銃撃の未然防止を含めた、海上治安の確保に全力を挙げていきます。また、豊富な水産資源を狙った密漁や外国漁船による違法操業についても、積極的に取り締まっていきます。

2点目は「海上安全文化の浸透・定着」です。自然環境が厳しい宗谷地方においては、まずは、事故を起こさないことが重要です。今後も、釣り人や船舶の事故を未然に防止するための呼びかけを、地道に繰り返していきます。

3点目は「自然災害への対応」です。豪雨、豪雪、高温など毎年過去最高を繰り返すような自然災害が、日本各地で発生しています。自然災害が発生した際には、海陸の隔たりなく、救助活動、物資輸送、給水支援など、我々にできることを、しっかりと行っていきます。

以上の3点について、これまで、稚内海上保安部の先人が築き上げてきた伝統をしっかりと継承してまいります。

我々、稚内海上保安部は、宗谷地方の皆様方に愛され、そして応援される組織になれるよう、職員一同、最善を尽くしていきます。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

4月着任職員 ご挨拶

次長（管理・警救） 田中 公一



4月15日付稚内海上保安部次長を拝命した田中（たなか）と申します。

稚内の勤務は2回目、11年ぶりとなります。街全体としては変わっていない印象ですが、中央町周辺の商店

街の閉店が増えた感じを受けていますが、以前と違いロシア人を見かける機会も少なく、治安的には良くなっているのではと思っております。また何年間かわかりませんが、精いっぱい尽力させていただきますので、どうぞ宜しくお願いします。

管理課長 海老名 雅美



4月15日付稚内海上保安部管理課長を拝命した海老名（えびな）と申します。

稚内は3度目の勤務です。前回5年前の勤務時は海

上保安友の会稚内支部事務局を担当し皆様には大変お世話になりました。その後、北九州市の第七管区へ渡り長崎県の対馬、吉岐など離島にある海上保安部署の庁舎、職員宿舎、浮桟橋などの施設整備を担当、日本列島縦断し小樽の一番本部を経て稚内へ戻ってまいりました。地域に密着した海上保安部を目指しますので、これまで同様に応援を賜りますようお願いいたします。

警備救難課長 山崎 公嗣



4月15日付稚内海上保安部警備救難課長を拝命した山崎（やまざき）と申します。

稚内は15年ぶり2回目の勤務です。前回、私生

活では長男の幼稚園入園や次男の誕生があり仕事では当時稚内にいた巡視船れぶんに乗って日本海からオホーツク海まで続く広大な宗谷の海を日々駆け巡るなど、大変思い出深く、充実した毎日を過ごさせてもらったことを思い出します。今回は警備救難課長として地域の皆様のニーズに答えながら、宗谷の安心・安全を守っていきます。

愛します・守ります・最北の海

稚内海上保安部



〒097-0023 稚内市開運2丁目2番1号 (TEL・FAX 0162-22-0118)

ホームページ <https://www.kaiho.mlit.go.jp/01kanku/wakkanai/>

職員募集・学校訪問・職場体験等お気軽にお問い合わせください！！

